



赤の広場からみたクレムリン宮殿

CONTENTS

ごあいさつ	京都府知事 荒巻 禎一 会長 田中田鶴子	• • 1
特集		• • 2
▶心開かれた日本の実現を	日本国際連合協会京都本部 常任理事・事務局長 大野 明	
▶「違い」を認識することから	太田 緑	
第11回海外研修報告「ロシア」	山下 弥生	• • 3
この1年をふり返って	山下 弥生	• • 4
京都府名誉友好大使との交流		
ねっとわーく	小泉 和子・稲味 史子 高島シズ子・武田 公子	• • 5
総会報告とお知らせ		• • 6

表題「てるびつと」は、京都府知事荒巻禎一様の直筆で、インドネシア語（京都府友好国）「あけぼの」の意味です。

表紙絵について
京都府に息づく豊かな自然の美しさ、「花」しだれ桜、さが菊。「木」北山杉。「鳥」オオミズナギドリ。を戸塚フランス刺しゅうで表現したものです。



『てるびつと』創刊にあたって

京都府知事 荒巻 禎一

『てるびつと』の創刊を心からお祝い申し上げます。

「KYOのあけぼのプラン」がスタートした平成元年に、皆様方が「海外研修KYOのあけぼの会」を結成され、それ以来、豊かな地域社会づくりや、女性団体のネットワークの強化、また国際交流の促進等、幅広い分野において指導的立場で活躍していただいていることに対し、心から敬意を表します。

この機関誌「てるびつと」が、会員の皆様方の情報交換の場として活用され、会の活動がますます盛んになりますことを願ってやみません。

「KYOのあけぼのプラン」も今年度をもってその前期推進期間が終了することから、高齢化や少子化等の女性を取り巻く急速な社会の変化を踏まえて必要な改定を行った上で、来年度から後期推進期間をスタートさせることになっております。どうか皆様方におかれましても、男女共同参画社会の創造をめざすこのプランの推進に一層の御協力をいただきますようお願いする次第であります。

終わりにになりましたが、会員の皆様のご健勝と会の今後ますますの御発展を心からお祈り申し上げます。



『てるびつと』発刊にあたって

海外研修KYOのあけぼの会
会長 田中田鶴子

師走の声を聞いて、急に寒さが募ってまいりましたが、会員の皆様方におかれましてはますますご活躍のこととお喜び申し上げます。

本会は平成元年9月に創設して以来、早くも5年が経過いたしました。この間、私自身会長として皆様と共にいろいろな事業に参加し、この会を通じた女性関係団体のネットワークから数多くのことを学び得たと喜んでいただいております。

そしてこのたび、機関誌『てるびつと』の第1号を発刊する運びとなりました。“てるびつと”とは、インドネシア語で“あけぼの”という意味であり、まさに本会の発刊誌に相応しい名称であると思っております。

また、創刊にあたりましては、常々何かとご支援いただいております荒巻知事様からの直筆の題字をいただきますとともに記念のごあいさつまで頂戴し、心より御礼申し上げます。

今後、当誌を通じて会員相互の緊密な連携を図り、より強力なネットワークづくりのためのコミュニケーションツールとして役立てていきたいと考えております。皆様方からの積極的な情報提供をお願い申し上げます。

『てるびつと』創刊にあたりまして、さらに活発な事業活動を目指してまいりたいと存じておりますので、関係各位の倍旧のご支援ご指導並びに会員各位の一層のご協力をお願い申し上げます。